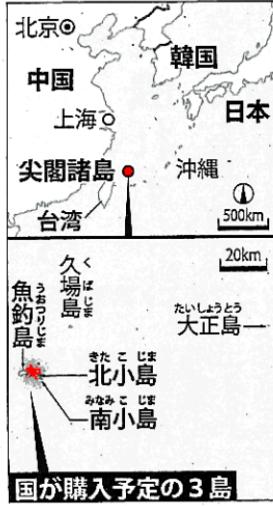


# 政府、尖閣購入合意

政府は尖閣諸島（沖縄県石垣市）の3島の購入で地権者と合意し、国有化へ大きなハードルを越えた。野田佳彦首相が合意を急いだ背景には、10月に交代する中国の胡錦濤指導部の在任中に決着をつけ、次期指導部との摩擦を最小限に抑える狙いがある。しかし、中国外務省の洪磊副報道局長は「日本の記者会見で『國家の領土や主権を守るために必要な措置を取る』と批判を強めた。胡指導部との関係が日本側の思惑を超えて悪化しかねないとの懸念も出てい



また長島昭久首相補佐官が4日に石原知事と面会し、都が求めていた漁船の避難港などの建設による実効支配の強化について「のめない」と伝えた。中国をこれ以上刺激しないためだ。そもそも政府が国有化を図るのは、東京都が島を購入すれば石原知事の强硬な言動に中国が反発を強めかねないことを懸念し、

民主黨代表選（10告示、21日投票開票）を  
え、地権者との購入  
意は「（野田首相の  
選に）マイナスには  
らない」（首相周辺の  
の見方もある。しかし  
尖閣諸島への不法上  
などが相次ぐ中、外  
や駐中国大使襲撃事  
ルートで中国に説明  
の余裕もないまま躊  
躇意が発覚したのは  
日本側にとって早す  
るタイミングだったた  
くばかり。首相親書を手渡し  
せ、9月8～9日の  
國有化したほうが島の  
「平穏かつ安定的な維  
持管理」につながると  
判断したからだ。首相  
だけで済ませる。何も  
造らない」と明言した。  
中国は10月の共産党  
大会で習近平新体制に  
交代するのみられる。  
首相官邸は、問題を引  
きずった場合、発足し  
たばかりの新指導部が  
日本への強硬姿勢を基  
本方針にせざるを得な  
くなることを懸念し  
た。「国有化ができる  
だけ早い方が問題は  
起きにくい」（官邸関  
係者）と判断し、新指  
導部との間で時間をか  
けて関係修復に取り組  
む考えだ。

ジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議に合わせて首脳会談を設定▽その間に尖閣購入の意図を中国に十分説明する▽会談後に購入合意を発表——と、いう「軟着陸」のシナリオを描いていただけに、対応のちぐはぐさは否めない。

尖閣問題を巡って交渉がなった5月の日中首脳会談の際も、日本側は尖閣国有化の方針を伝えず、7月上旬に国有化方針が表面化すると、中国側は猛反発した。日中関係筋は「事前の根回しもなく、向こうには『野田首相に裏切られた』という風

いがあったようだ」と指摘する。